

## 6 中学校国語科の授業改善のポイント

### 中学校 話すこと・聞くこと

設問[A1一][A6一][A6二]  
[B2一][B2二][B2三]

#### 全国学力・学習状況調査から見られた成果(○)と課題(▲)

○話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと。

〔A1一〕（府の正答率87.6%、全国の正答率87.4%）

○話合いの話題や方向を捉えて的確に話すこと。

〔A6一〕（府の正答率72.7%、全国の正答率72.4%）

〔A6二〕（府の正答率66.6%、全国の正答率65.8%）

○質問の意図を捉えること。〔B2一〕（府の正答率87.2%、全国の正答率86.8%）

○話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問をすること。

〔B2二〕（府の正答率90.3%、全国の正答率88.3%）

▲全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと。

〔B2三〕（府の正答率56.0%、全国の正答率54.6%）



**解説** 「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均を上回っていますが、設問が求める内容を、実際の指導の場面で生徒が注意できているかを見る必要があります。

#### 授業改善のポイント 実際の指導の中で、以下の点を確認する。

##### ◎話すこと:

ア 構成を工夫してスピーチをすることができているか。また、自分のスピーチを振り返ることができているか。

イ 聞き手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉え、それを踏まえながら話しているか。（話の途中で聞き手に問いかけたり、質問を促したりするなど）

ウ スピーチを聞いて交流する場面を設定し、話の展開や構成に注意して聞くことを意識させているか。

##### ◎聞くこと:

ア 話の論理的な構成や展開などに注意しながら聞くことができているか。（メモを取らせる指導）

イ 内容について、賛成又は反対、納得できる又はできないなど、自分の考えと照らし合わせながら話を聞いているか。

ウ 必要に応じて不明な部分や更に聞きたい事柄について質問しているか。

##### ◎話し合うこと:

ア 話合いの内容にふさわしいメモの取り方ができているか。

イ 司会や議長の立場だけでなく、それ以外の立場で参加する場合にも、話合いが課題の解決に向かうように進め方を提案したり、話合いが効率よく進むように協力したりできているか。

ウ 話合いの話題や方向を捉えて、必要に応じて質問することができているか。

\* 実際に話合いの様子を動画で記録し、それぞれの立場における発言の意図や効果について考えるなどの学習活動が有効。

## 全国学力・学習状況調査から見られた成果(○)と課題(▲)

○文章の効果的な構成を考え、伝えたい事実や事柄が相手にわかりやすく伝わるように書くこと。

〔A2一〕（府の正答率90.2%、全国の正答率89.5%）

〔A2二〕（府の正答率64.5%、全国の正答率64.0%）

○段落相互の関係等に注意し、伝えたいことがわかりやすい文章になるように推敲すること。

〔A4一〕（府の正答率63.5%、全国の正答率62.8%）

〔A4二〕（府の正答率80.0%、全国の正答率79.4%）

▲文章から必要な情報を捉えて整理して書くこと。

〔B1三〕（府の正答率14.1%、全国の正答率13.3%）

▲物語のあらすじを説明した文章を書くこと。

〔B3三〕（府の正答率51.4%、全国の正答率49.2%）

**解説** 課題点は、文章から必要な情報を捉えて整理して書くことと、物語のあらすじを説明した文章を書くこと。

前者は〔A2二〕、〔B1三〕ともに、答えに必要な2つの情報のうち1つしか答えられていないという誤答が全国平均より多く、特に〔B1三〕は、求められている答えが根拠を示すものであることから、根拠を書くことについては、引き続き確認が必要です。

後者も同様に、あらすじとして適切な話の展開がまとめられていないという誤答が多く、これも前者と同じで「読むこと」の課題に直結しています。しかし、「書くこと」については考えたことを整理するプロセスが大事なので、文章の大事な情報に線を引いたり図示したりするなどの指導が大切です。

指定の字数に合わせた解答をしようとする傾向が解答類型からも見られるので、内容面での指導が求められると言えます。

## 授業改善のポイント

◎「話すこと・聞くこと」の課題とも併せて、相手意識を持たせたスピーチ原稿を書く課題を設定し、相手に分かりやすいように描写や構成を工夫しているかを確認し、グループ・ペアで交流しながら助言を基に推敲する学習過程を入れる。また、書き直した根拠も説明できるようにする。推敲の際は以下の観点を指導する。

ア 段落相互の関係は適切か。(意見を述べる段落とそれを支え根拠となる内容を示す段落との位置付けは適切か)

イ 目的や意図に応じて説明や具体例を書き加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりできているか。

◎物語のあらすじを書く課題を設定し、以下の事項に留意する。

ア 作品のあらすじをまとめる際には、それぞれの場面の内容や場面相互の関係を捉え、話の展開を踏まえるように指導する。

イ その際小学校での学習を踏まえ、時間や場所、問題状況などの設定、情景や場面の様子の変化、主人公などの登場人物、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決などの基本的な構成要素を捉えて整理するように指導する。

## 全国学力・学習状況調査から見られた成果(○)と課題(▲)

○文脈の中における語句の意味を理解すること。

〔A3一〕（府の正答率88.3%、全国の正答率88.2%）

○場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること。

〔A3二〕（府の正答率83.5%、全国の正答率82.8%）

〔B3一〕（府の正答率80.7%、全国の正答率80.2%）

〔B3二〕（府の正答率68.9%、全国の正答率68.2%）

○段落の役割を捉えながら情報を整理し、内容を把握すること。

〔A5一〕（府の正答率77.7%、全国の正答率76.3%）

〔A5二〕（府の正答率60.2%、全国の正答率59.5%）

○文章の構成や展開について自分の考えを持つこと。

〔B1二〕（府の正答率64.9%、全国の正答率64.3%）

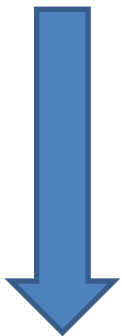
▲文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること。

〔B1一〕（府の正答率46.8%、全国の正答率45.9%）

▲目的に応じて必要な情報を読み取ること。〔B1三〕（府の正答率14.1%、全国の正答率13.3%）

▲話の展開を捉えてあらすじをまとめること。

〔B3三〕（府の正答率51.4%、全国の正答率49.2%）



**解説** 成果として、場面の展開や登場人物の描写に注意して読むこと(文学的文章)や、段落の内容を捉えながら情報を整理して内容を理解すること(説明的文章)はクリアしています。課題として挙げた3点は、全国平均を上回っているものの、全体的に正答率が5割前後、またはそれ以下の正答率の低い設問です。文章とグラフとの関係を考えながら内容を把握することについては、他教科も含めて今後必要とされる力であり、教科横断的に取り組む必要があります。また、目的に応じて必要な情報を読み取ることと、話の展開を捉えてあらすじをまとめることは、府の生徒の課題である文章全体を俯瞰して読むことと結びついていると言えます。

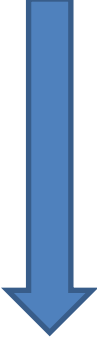
## 授業改善のポイント

- ◎文学的文章では、複数の叙述を基にして登場人物の人物像・人物相互の関係・情景描写の意味を理解させる。特徴的な表現に気づかせ、それが示す内容についても理解させる。
- ◎物語や詩を読んで考えたことを交流する場面の中で、自分の考えを根拠を持って発表すること。（「書くこと」とも関連）
- ◎説明的文章では一定の分量の文章を要約させるなど文章全体を俯瞰して読むことや論構成を意識して読むことが大切。
- ◎また、新聞や記事など、図表・グラフを伴った形式の文章に読み慣れるようにすること。そこで身に付けた読み方を他教科の授業でも応用できるよう教科横断的なカリキュラムの作成も求められる。

**全国学力・学習状況調査から見られた成果(○)と課題(▲)**

課題は以下のとおりである。

- ▲漢字を書く（舞台のマク）〔A8ー2〕（府の正答率72.4%、全国の正答率72.9%）  
（模型を作る）〔A8二1〕（府の正答率95.5%、全国の正答率95.7%）
- ▲漢字を読む（技を磨く）〔A8二3〕（府の正答率98.0%、全国の正答率98.1%）
- ▲適切な語句の選択  
〔同音異義語（習性）〕〔A8三イ〕（府の正答率90.3%、全国の正答率91.0%）  
〔語彙（ひとえに）〕〔A8三カ〕（府の正答率65.1%、全国の正答率65.4%）
- ▲慣用句を用いた短文づくり  
（心を打たれる）〔A8四2〕（府の正答率21.6%、全国の正答率22.3%）
- ▲歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す  
（とほさざるなし）〔A8六2〕（府の正答率60.8%、全国の正答率63.0%）



**解説** 漢字を書く・読む設問は各3問ありましたが、書く設問は1／3問、読む設問は2／3問が全国平均を下回っています。また短文を答える設問は、主語が書けていない誤答が多く、授業での指導が期待されます。〔A8六〕は古典に関する設問ですが、1「いわく」の意味を答えるより、2「とほさざるなし」を現代仮名遣いに直す設問の方が正答率は低く、指示どおりに答える指導が必要です。国語科全体の設問のうち、全国平均を下回った設問は7問あり、全て伝国の設問でした。基礎基本の知識の習得はあらゆる指導の基本ですから、その指導に立ち返ることが大切です。

**授業改善のポイント**

- ◎基本的な漢字の読み書きの習得には反復練習だけでなく、授業で取り上げた文章に出てくる漢字・語句に注目させたり、「書くこと」の推敲などと併せて指導したりするなど、実生活で使えるような漢字・語句指導が重要。
- ◎語感を磨き語彙を豊かにするには、以下のような学習活動が考えられる。
  - ア 気になった語句をノートに書き留め、その語句を使った短文を作ったり、話や文章の中で使ったりする。
  - イ 文学的な文章の学習で、登場人物の人物像などを四字熟語や慣用句を用いて表す。
- ◎授業において、取り上げた語句を用いた短文づくりをする際に、「必ず主語・述語を入れる」等の条件を提示し、主語・述語の照応した文章を書くことを意識させる。
- ◎古典の仮名遣いの指導において、現代語訳で答えるのか、現代仮名遣いで答えるのか、を正確に区別させる。